発言順位	２番

代 表 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和５年２月１５日

三島市議会議長　川原　章寛　様

三島市議会議員　　１８番　　土屋　利絵

質問事項及び具体的内容

コロナ禍を脱却していくための令和５年度予算案について

令和５年度予算は三島市においても過去最大規模の４２４億８千万円となり、コロナ禍をなんとか脱却していこうとする予算案ではないかと考えます。福祉政策をパワーアップし、新たな街づくりのためにも今後の税収確保に向けて基盤を作っていかなければならない大切な年度です。

さて、この３年間を振り返ると、コロナ禍においては、異常な規模で、国から自治体への財政支出が行われてきました。しかし、自治体としたらもらえるものはやはりもらいたいわけです。豊岡体制に期待したのは、国からの交付金をまずは本当に必要な市民の方々に届けていくこと。そして、将来の果実になるようなお金の使い方です。令和５年度の予算案を検証していくためには、過去３年間のお金の使い方を検証し、令和５年度予算案に生かしていくことだと考え、下記のとおり伺います。

１　本当に支援が必要な市民の方々に対する施策について

（１）過去３年間の地方創生臨時交付金を活用した事業を受けて、令和５年度に実施していく福祉施策について

（２）生活困窮に陥りそうな方々をしっかりサポートしていくための施策について

（３）住まいを失うおそれのある方々の住まいを確保していくための施策について

２　子どもたち、高齢者、障がいを持った方が生きやすい世の中にしていくために

（１）生まれた子どもたちを見守るための施策について

（２）不登校の子どもたちに対する支援について

（３）障がいを持つ方の雇用、児童発達支援、自立支援、親亡き後の支援について

（４）高齢者支援の中心となる地域包括支援センターの現状と今後について

３　福祉を充実させていくための税収を増やしていく政策について

（１）市民に喜ばれる三島駅南口東街区再開発としていくための取り組みについて

（２）大場のまちづくりに向けての体制や方向性について